

この工事は赤字？黒字？ 原価把握が利益重視の経営を生んだ

ビルや橋梁の基礎を作る鉄筋工事は、完成すると目には見えないものの、建物の強度を左右する重要工程。雷鳥大橋や立山大橋など、数々の公共工事で実績を持つのが富山県富山市の旭鉄筋である。

IT化が遅れる業界事情 手作業では数値が追えない

井本秀治社長が創業者の父を継いで2代目社長になったのは7年前。社員時代と仕事内容は大きく

変わった。「現場に出ていた時の方が帰って飲むビールもおいしかったですね。人と話するのが苦手な自分が営業もするわけですから」

当時、自己啓発のために参加した勉強会で知り合ったのがITコーディネータの吉田誠氏。同じ勉強会の仲間として交流を深めているうちに、悩みやITの使い方について相談する間柄になった。

ちょうど吉田氏も独立して会社を興し、新米経営者として悪戦苦

闘している最中。自身の経験やITコーディネータとして学んだことを実践に移す格好の相手でもあった。

建設業の中でも専門工事業者は家族経営の企業が多く、ITの活用はあまり進んでいない業種だ。しかし井本社長は公共工事の減少や値下げ競争が加速することに危機感を持っていた。

「もはやドンブリ勘定ではいけない。工事の採算ラインを把握しなければ。しかし、手書きで数値を集めるのは労力がかかりすぎる」

各工事の原価管理をきちんと行いたい。この井本社長の思いがIT活用に足を踏み出さ



日報記入の習慣化へ ITコーディネータが後押し

相談を受けた吉田氏は、パソコンの表計算ソフトやシェアウェアソフトを使い、費用をかけずに実績データを蓄積する仕組みをつくる。しかし、工数や単価、原材料、外注費など工事実績の日報提出を指示された工事責任者の職長の側は、忙しい毎日の中で「余分な」業務はつい後回しにしがちだ。出し忘れたり、まとめて書くことによる記憶違いがあったりとなかなか正確なデータが集まらない。ITの仕組みを作っても、運用

会社紹介

旭鉄筋株式会社

富山県富山市水橋開発277-11

事業内容 建設現場における鉄筋工事。ビル、橋梁、高速道路の橋脚・橋梁などにとくに強い。

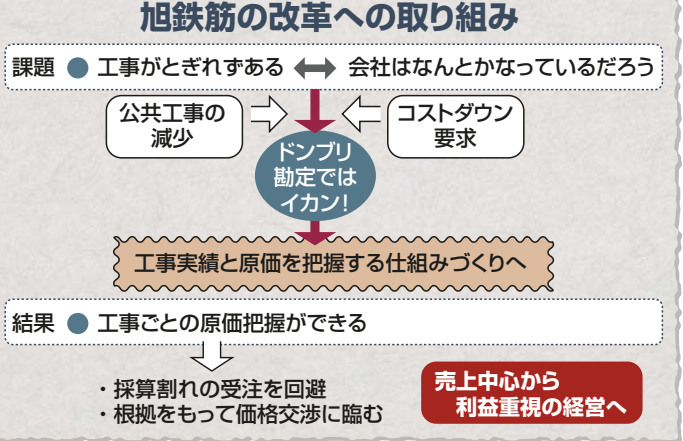
設立年 昭和45年

従業員数 25名

URL <http://www2.ctt.ne.jp/asahi/index.htm>



代表取締役社長 井本秀治氏



が社員に定着せず尻すぼみするのはよくあること。旭鉄筋も社長の思いとうらはらに何度か計画が頓挫しかかったが、吉田氏がその都度井本社長を激励した。井本社長があきらめずに導入理由を説明し続けた結果、2年の歳月を経て、工事当日夜の日報提出が習慣として根付き始めたのだった。

根拠があるから交渉できる 赤字工事を回避

以前は「人が遊んでいなければ（何か仕事をしていれば）会社は大丈夫」という程度の判断しかで

きなかったが、今は現場の職長も自分の担当工事の数値に敏感になってきたという。

井本社長自身の大きな変化は、「数値的な根拠を持てたことで、赤字仕事を断れるようになった」ことだ。ゼネコンとの価格交渉においても、数字の根拠があれば話を理解してもらえる。むしろ、きちんと計数管理をしていることに驚かれる時もあるという。逆に「安ければそれで良い（質を下げてでも良い）」と考える発注元の仕事は無理して受けないという選択もできる。

吉田氏は、「売上が上がると利益が上がるのが通常ですが、この業種は外注費が高く、外に出すと赤字になる場合もあります。利益重視の経営になってきたのは良い変化です」と分析している。今後、目指すのは「従業員が満足できる会社」。

「この会社に来たら何だか楽しい、給料も同業者より良い。甘いと言われそうですが、そんな会社にしていきたい」

業界特有の課題を一つ乗り越えた井本社長は、澄んだ目を輝かせて方針を語った。

特別企画 磨け!400万社の成長力

Part1 国の施策とアドバイザーの利用価値

地域支援機関紹介

ITコーディネータ富山が連携を深める
株式会社富山県総合情報センター
<http://www.toyama-tic.co.jp/>



常務取締役 見崎 透氏（左）
事業部 事業次長 西村仁志氏

第三セクターとして地域の情報化を推進する富山県総合情報センターは、経済産業省推進事業であるIT経営応援隊事業の実施等を通じ、ITコーディネータ富山と協力関係を保ちつつ、地域企業のIT活用推進に尽力している。

本年度からは、これまでIT経営応援隊事業等に参加した意欲ある経営者の集まりとして「とやまIT経営クラブ」を組織化。担当の西村仁志事業部次長によると、「各種事業に参加いただいた皆様へのフォローを充実させ、よりよいIT経営を実現いただけたら、人的なネットワークの充実を目指しました」とのことだ。

メーリングリストによる情報提供、勉強会の開催等を通じ、経営戦略やITの活用に関する情報提供と交流を行っていく（7月26日には第二回勉強会を開催）。

サポーター紹介 ITコーディネータ



吉田 誠氏
有限会社スリーコード
<http://www.three-chords.com/>
ITコーディネータ富山
<http://www.itc-toyama.org/>

特定非営利活動法人ITコーディネータ富山の会長を務める。ITコーディネータとしてのコンサルティングビジネスを展開中。

旭鉄筋へはパソコンのサポートや、外国籍従業員に対する事故防止目的の動画マニュアル作成（この取り組みは国土交通省の「下請業者の経営力・施工力の充実・強化促進モデル構築支援事業」に採択された）など、何でも相談・依頼される良好な関係だ。今後は、親密さを保ちつつもビジネスパートナーとして適正な距離感を促っていくことが、より良い二人三脚につながるであろう。

井本社長は「なくてはならない存在」と評し、特に「モチベーションを上げてくれることが助かる」と言う。日報記載の習慣を定着できたのは、吉田氏の根気良いサポートによるところも大きい。